



安全広報

ごあんぜんに

Vol. 38

四 国 地 方 整 備 局
港 湾 空 港 部 室
工 事 安 全 推 進 室

2020.01.31



令和元年度 第2回 工事安全強化期間

(令和2年 2月1日 ~ 2月15日)

安全強化期間 スローガン

「ごあんぜんに！」

大事なかけ声 現場の笑顔



日頃より、工事安全活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

四国地方整備局の港湾空港関係直轄工事においては、2月1日～2月15日を第2回工事安全強化期間と定め、関係機関および関係業団体とともに事務所職員、本局職員が各地で合同安全パトロールを行います。

本強化期間中は、今回のスローガン（標語）を用いた安全ポスターを事務所および各現場に掲示するとともに、関係者全員が安全ワッペンを装着して、安全意識のさらなる高揚をはかり、一丸となって無事故・無災害を目指します。

今回のスローガンは、令和元年度第1回に引き続き作業現場におけるかけ声の徹底による事故の防止を目的としており、この工事安全強化期間をきっかけに、新たな場面でのかけ声の発案など現場内で意見交換して頂ければと考えています。

安心安全な建設現場を目標に、安全対策を確実にを行い、作業完了いただけるようよろしくお願いいたします。

○港湾・空港関係直轄工事における死傷災害発生状況

単位：人

	平成30年度（4月から12月 末まで）死傷者数（A）		令和元年度（4月から12月 末まで）死傷者数（B）		（B）－（A）	
	死傷者数	死亡者数（内数）	死傷者数	死亡者数（内数）	死傷者数	死亡者数（内数）
全国	33	0	25	0	-8	0
四国管内	0	0	3	0	3	0

出典 国土交通省港湾局技術企画課調べ

全国では、昨年度と比較して、25%程度死傷者数が減少しております。また、昨年度と同様に死亡事故は発生していない状況です。

四国管内では、昨年度と比較して、死傷災害発生件数が増加しておりますが、幸いにも大きな事故は発生していない状況であります。引き続き、今後の無事故・無災害に向けた取組をお願いします。

○港湾空港関係における事故事例

港湾空港関係における事故事例（H31年4月～R1年12月）を紹介します。この事故事例を参考に、現場の安全について、再確認をお願いします。

	事例①	事例②
発生状況	<p>〈事故の型〉はさまれ、巻き込まれ</p> <p>コンクリートブロック製作において、型枠の穴のずれを直すため、型枠端部を手でつかみ人力で動かしたが、上下の型枠の間に隙間が生じていたことから指を挟まれ被災した</p>	<p>〈事故の型〉はさまれ、巻き込まれ</p> <p>ボーリング作業中、プーリー(滑車)に巻いたロープが乱巻になったことから、被災者が修復しようとした際、プーリーに右腕を巻き込まれ被災した</p>
発生要因と再発防止対策	<p>(発生要因)</p> <p>思い込みと油断から安易に作業を行った</p> <p>(再発防止対策)</p> <p>作業前に手順周知会の開催 臨時安全パトロールの実施 など</p>	<p>(発生要因)</p> <p>大丈夫だろうと思い通常の手順を軽視して機械・装置の取り扱いを誤った</p> <p>(再発防止対策)</p> <p>作業前に手順周知会の開催 臨時安全パトロールの実施 など</p>
被災部位・性質	上肢部 打撲傷・骨折	右手関節～前腕挫傷、右手関節～前腕挫創
発生状況図・写真		<p>←写真:乱巻き発生状況</p> <p>↓写真:被災状況</p>

○港湾空港関係各種安全パトロールの取組について

①「死亡事故ゼロNEXT 1000日キャンペーン」

・昨年度に直轄港湾・空港工事「死亡事故ゼロ“連続1000日”」を達成しました。
 ・死亡事故ゼロ連続1000日達成を全国直轄工事現場で共有し、次の1000日達成を目指すため、全国直轄工事現場で、受発注者共同の安全パトロールを実施しました。
 (R1. 9. 25～R1. 10月末日迄)

②秋期合同安全パトロール

・昨年度同様に、今回は11月から12月の間に稼働中の各現場において、本局・事務所合同で安全パトロールを実施しました。

③近畿・中国・四国地方整備局合同安全パトロール

・全国的な工事等におけるより一層の安全推進を目指して、今年度新たに「工事安全推進室」が設立され、高知港・高知港海岸において稼働中の工事現場を対象として初めて三局合同で安全パトロールを実施しました。(R1. 12. 6)

④土質調査業務における緊急安全パトロール

・令和元年12月11日、管内土質調査業務において負傷事故が1件発生しました。
 ・管内においては当時複数の土質調査業務が履行中であったため、当該事故事例を共有するとともに、全ての履行中土質調査業務の現場において、12月中に緊急安全パトロールを実施しました。

あとがき

2月は気温が下がり厳しい現場環境下での作業が強いられます。あらかじめ適切な対策を行い、工事関係者に教育指導を行うなどの事故災害防止の取組に協力をお願いします。

また、建設業では「働き方改革」、「担い手育成・確保の推進」などの取組みが行われていますが、安全がすべての基礎となっていますので、引き続き、今後の無事故・無災害に向けた取組をお願いします。

